

財政公益審査会議事業計画

財政公益審査会議 議長 鈴木 壮一郎

公益法人格を取得して7年が経過し我々には公益に関する知識が身に付いてきていますが、多くの制度が日々生まれている現代社会において、飽くなき探求心の基、新たな手法を活用し、より強固に財政運営を進める必要があります。今年水戸の地で開催される関東地区大会、来年に70周年が控える中、公益比率や収支相償を満たしコンプライアンスを確保しながら新しい情報を取り入れ的確な財務管理を模索し実践し続ける必要があります。

まずは、公益法人として透明性が確保されたLOMの運営を構築するために、正確な予算書と決算書を作成することで、公益比率の取れた適正な財政が可能な組織が確立されます。そして、諸先輩方からの寄附金や我々の会費等で構成されている貴重な財源を適正に使用するために、費用対効果に重点を置き、支出を見極めた財政公益審査会議を行うことで、各事業の効果が高まり効率の良い組織の財政基盤が構築されます。さらに、LOMの運営を理解して組織を存続させるために、法人格の種類による特徴に関して公開委員会を開催することで、一人ひとりが法人格の違いを判断する力が身に付きます。また、我々が財政に対して興味を高め、常に新たな手法を模索する意識を構築するために、公益法人協会等が実施しているセミナー等から有益な情報を抽出し、取り纏めメンバーへ発信することで、新しい情報を取り入れ時代の変化に柔軟に対応できる組織体制が醸成されます。そして、会議体や委員会メンバーが財源の大切さを理解するために、資料作成を確りとサポートし知識を深めてもらうことで、事業構築における慎重な財源使途の意識が備わります。

我々一人ひとりが財源の大切さを理解し、各委員会と連携した予算検証は、費用対効果や透明性の高い事業が実現され、財源を有効活用する手法を模索する姿は、財政の健全化をより推し進め、LOMの運動の可能性を拓き水戸の地を牽引できる組織が確立されます。

<事業計画>

1. 適正な予算書及び決算書の作成
2. 財政公益審査会議の開催
3. 組織を存続させる知識の共有
4. 法人格の新たな運営方法や制度等の情報の発信
5. 会議体・委員会との連携強化によるサポート